

管内市町村の概要



オホーツク管内
 ■総面積 10,690.36km²
 (全道比 12.8%)

3市 14町 1村
 ■総人口 253,648人
 ■世帯数 140,710世帯



1 北見市 Kitami City
 ■面積 1,427.41km² ■人口 109,118人
 管内商工業の中心都市。タマネギ生産量日本一を誇る農業や、ホタテなどの漁業も盛んです。人口に対する焼き肉店の割合が道内一高く、焼き肉の町としても有名です。また、常呂自治区はカーリングの町として知られており、多くのカーリング五輪日本代表選手を輩出しています。温根湯温泉には「北の大地の水族館」があり、人気スポットの1つです。



2 網走市 Abashiri City
 ■面積 470.84km² ■人口 31,764人
 網走は知床・阿寒摩周・大雪山の3つの国立公園に囲まれた網走国定公園の中央に位置しています。ラムサール条約登録湿地の釧路湖をはじめとする5つの湖や、知床連山を望む名勝・天都山を擁し、冬には流氷が接岸するなどダイナミックな自然景観が広がります。サケやホタテなどのおいしい魚類がたくさん取れ、中でも網走湖のシジミとワカサギは全道一の漁獲量を誇ります。



3 紋別市 Monbetsu City
 ■面積 830.67km² ■人口 19,772人
 オホーツク紋別空港が立地するオホーツク管内北部(遠軽地域)の中核都市です。「流氷観光船ガリンコ号III」や「氷海展望塔オホーツクタワー」など、冬の流氷観光でよく知られており、カニやホタテに代表される海産物も魅力です。夏は涼しい気候のため、海や川での釣り、キャンプ、パークゴルフなどのアウトドアが人気です。



4 美幌町 Shiroto Town
 ■面積 438.41km² ■人口 17,077人
 「くるとパラマ美幌峠」は、全道でも屈指の観光地。天下の絶景とも呼ばれ、知床や阿寒の山々の大パノラマが広がります。北海道道の駅ランキング「再度訪れた」部門では1位を獲得しています。圏域の主要都市に近接する優れた立地と、気候にも恵まれ、活気ある町です。基幹産業である農業のほか、スポーツも盛んで、多くのオリンピック・パラリンピック選手も輩出しています。



5 津別町 Tsubetsu Town
 ■面積 716.80km² ■人口 3,921人
 林業が盛んで、木材・木製品製造業出荷額は全道一です。屈斜路湖を見下ろす津別峠展望台からの雲海が絶景です。津別峠の麓にある一軒宿の奥尻斜路温泉、可憐なクリンソウの群落、原始の森に囲まれた秘湖・チメクツ湖など選りすぐりの山村の魅力に満ちあふれています。また、2021年に開催された東京五輪のメダルケースは町内家具メーカーが津別産木材を使用し制作、一躍話題となりました。



6 斜里町 Shari Town
 ■面積 737.13km² ■人口 10,388人
 知床峠・知床五湖などのある、世界自然遺産知床を代表する町で、ウトロ地区は豊かな温泉郷です。農業と漁業も町を代表する産業で、中でもサケ・マスの漁獲量は日本トップクラスを誇ります。地産品の優良な食品を「知床しゃりブランド」として積極展開しています。



7 清里町 Kiyosato Town
 ■面積 402.76km² ■人口 3,590人
 大規模畑作を中心とした農業が盛んな町で、地産品のじゃがいもを使ったじゃがいも焼餅が特産品です。昭和50年に清里町が日本で初めてじゃがいも焼餅製造事業を始め、今年は事業開始から50周年を迎えます。また、神秘的な輝きで訪れる人々を迎える神の子池や様々な時間帯で豊かな姿を見せる裏摩周展望台、サクラマスが滝を飛び越えようとするジャンプするさくらの滝などの大自然は必見です。



8 小清水町 Koshimizu Town
 ■面積 286.89km² ■人口 4,307人
 小清水原生花園のほか、オホーツクの村や、じゃがいも街道、そして泉質と施設が自慢のふれあいセンターなど見どころの多い小清水町の中でも、ゆりの郷こしみず「リリーパーク」は東京ドーム約3倍にあたる13haの丘陵地に、カサブランカ、マルコポーロなど世界各地から集められた約100品種・700万輪のユリが7月上旬から9月上旬まで咲き乱れます。園内には売店もあり、ユリの切り花・鉢植え・球根の販売予約もしています。



9 訓子府町 Kunpeppu Town
 ■面積 190.95km² ■人口 4,414人
 訓子府町は盆地特有の寒暖差のある気候や常呂川に沿って広がる肥沃な大地を生かした、農業の町です。主要農作物はタマネギ、ジャガイモ、小麦、てん菜などが挙げられます。学校給食の米・タマネギ・ジャガイモは全て訓子府産を使用しており、豊富な甘さを誇る「くねっがもん」は、贈答用としても人気です。また、卵でとじない「たれカツ丼」はご当地グルメとして有名です。



10 置戸町 Okato Town
 ■面積 527.27km² ■人口 2,502人
 木目の美しさが特徴の木工作品「オケクラフト」が特産品。森林工芸館では、オケクラフトをはじめ、置戸町のゆるキャラ「おけばんばくん」グッズ等を販売展示しています。また、置戸の自然を満喫できるのが、鹿ノ子ダム(おけと湖)下流にある、鹿の子沢です。全国巨木百選に選ばれた三本桂や虹の滝など、充実したハイキングが楽しめます。ハイキング終わりに、日帰り温泉もおおすすめです。



11 佐呂間町 Saroma Town
 ■面積 404.94km² ■人口 4,548人
 サロマ湖展望台から一望できるサロマ湖と砂洲を隔てたオホーツク海は、その雄大な景観とともに、ホタテや牡蠣などの豊かな恵みをもたらしてくれます。また、畑作や酪農などの農業も盛んで、カントリーサインにもなっているカボチャは、本町を代表する農産物です。道の駅サロマ湖では、ホタテの浜焼きやサロマ豚など、多くの特産品を楽しむことができ、人気の観光スポットになっています。



12 遠軽町 Engaru Town
 ■面積 1,332.45km² ■人口 17,370人
 蔵望岩(がんぼういわ)と日本最大級のコスモス園、世界中の木製おもちゃを集めた「ちゃちゃワールド」、キャンプ場内を走る森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」、日本最古の国宝に指定された「北海道白滝遺跡群出土品」など見所がいっぱいです。また、スキー場のロッジが併設した道の駅「遠軽森のオホーツク」では、トリートレッキングやサマーゲレンデ、東洋スリリングなジップラインが楽しめます。



13 湧別町 Yubetsu Town
 ■面積 505.79km² ■人口 7,854人
 酪農・畑作を中心とした農業と沿岸・養殖を中心とした漁業など第一次産業が基幹産業の町です。2020年に「バイオマス産業都市」の認定を受け、バイオマス産業を軸とするまちづくりを推進しています。約200種70万本の色彩豊かな「チューリップ公園」や約400本のリラの木が並ぶ「オホーツクリラ街道」があります。オホーツク海・サロマ湖産のホタテや牡蠣などの海の幸が人気です。



14 滝上町 Takanoue Town
 ■面積 766.89km² ■人口 2,181人
 日本最大級の「芝さくら海上公園」が有名です。また、香りの里ハーブガーデンでは春から秋にかけて約300種類のハーブや季節の草花が咲き誇ります。市街地の中を流れる珍しい深谷・錦仙峡(きんせんきょう)は、バードウォッチングや清流釣りを楽しむことができ、美しい日本の宝の宝たけとなるみち500選に選ばれた滝滑川深谷遊歩道の錦仙峡散策もおすすめです。



15 興部町 Okoppe Town
 ■面積 362.55km² ■人口 3,488人
 豊かな自然環境を背景に酪農と漁業を基幹産業とした町です。町内に多数ある個性豊かなチーズ工房や牧場直営レストラン、アイス・ソフトクリーム販売店は、どれも大満足の美味しさです。そして沿岸で獲れるホタテ、サケ・マス、モガニなどの魚介類は絶品です。また、酪農におけるバイオマス資源を有効活用し、新たな産業づくりと雇用を生み出す「バイオマス産業都市」を推進している町です。



16 西興部村 Nishikoppe Village
 ■面積 308.08km² ■人口 937人
 村の面積の9割が森林に覆われ、人口は約1,000人、基幹産業は酪農でオホーツク管内唯一の村です。公共施設の外壁がオレンジ色に統一され、瀬戸牛(せとうし)峠から見る街並は、美しい景観となっています。また、村の特産品である牧草で育てた牛から搾った「グラスフェッドミルク」の乳製品は、牛乳、ソフトクリーム、バター、各種チーズなどどれも絶品です。



17 雄武町 Oshima Town
 ■面積 636.88km² ■人口 4,044人
 オホーツク海に突き出た日の出岬は、温泉や、魅力的なキャンプ場などがある観光スポット。基幹産業の漁業では、毛がにとサケが代表的な水産品です。サケの中でも特に、数千尾に1本ともいわれるメジカ(目住)、独自ブランド「雄武」として厳選された天然銀毛サケは高値で取引されています。



18 大空町 Ozora Town
 ■面積 343.66km² ■人口 6,373人
 オホーツクの空の玄関口女満別空港を擁し、全国自然100選の薄葉山や北海道景観百選の網走湖女満別湖畔のほか、10haの斜面いっぱいには芝桜が咲く「ひがしもと芝桜公園」など、四季折々に風光明媚な景観が楽しめる町です。主要な産業は農業で、「アスパラ」「長いも」「チーズ」などの特産品が贈答用にも人気があります。フォトスポットの「メルヘンの丘」もおおすすめです。

※面積は令和6年10月1日現在全国都府県市区町村別面積調(国土院調)

※人口は令和7年3月末現在、世帯数は令和6年1月1日現在の住民基本台帳ネットワークシステムの入力状況であり、各市町村が公表する人口と一致しない場合がある